

脇坂 圭一（わきさか・けいいち）先生

静岡理科大学 理工学部 建築学科 教授
(元・名古屋大学 准教授)



経歴等

1995年	東北大学 工学部 資源工学科卒業
1997年	同大学 建築学科卒業 同年より建築設計事務所に8年間勤務
2005年	東北大学 大学院 博士課程前期修了
2005～2006年	オーフス建築大学留学(デンマーク政府奨学金留学生)
2006年～	JDSアーキテツツ所属(コペンハーゲン)
2008年	東北大学 大学院 博士課程後期修了 同年 一級建築士事務所 脇坂圭一アーキテツツ設立(現・ヒュッゲ・デザイン・ラボに改組)
2011年	名古屋大学 施設計画推進室(現・施設・環境計画推進室) 准教授
2016年	静岡理科大学 建築学科設置準備室(17年より理工学部 建築学科)教授

講演内容

1. キャンパスと原っぱ

- ・根源的な意義と役割
- ・教育・研究の基盤としての施設
- ・インフォーマルなコミュニケーションのきっかけをつくる

2. ミックス・ラボとしてのITbM

※ ITbM: Institute of Transformative Bio-Molecules
トランスフォーメティブ生命分子研究所

- ・5つのコンセプト
- ・建築計画、構造計画、環境・設備計画
- ・ファシリティマネジメント手法としてのコミッションング

3. 国内外の事例にみるイノベティブな空間

- ・米国：ハーバード大学、MIT
- ・デンマーク：オールボー大学、オーフス大学、オーフス建築大学
- ・日本：名古屋大学ES総合館、同アジア法交流館、静岡理科大学建築学科棟えんつりー、ROKIグローバルイノベーションセンター

4. まとめ

- ・空間、家具、可視性

主な研究分野・対象

- ・都市計画：キャンパス計画、コミッションング、半外部空間・半内部空間、防災建築街区・防火建築帯
- ・建築計画：空間認知、ワークショップ
- ・建築意匠：空間論・作家論(ヨーン・ウツソン、アルネ・ヤコブセン)

池田 晃一（いけだ・こういち）様

株式会社オカムラ マーケティング本部 フューチャーワークスタイル戦略部
はたらくを科学する研究所 主幹研究員



経歴等

1999年	東京農業大学 農学部 農業経済学科卒業 専門は農業地理学
2002年	早稲田大学大学院 国際情報通信研究科修了 専門は空間情報デザイン 同年(株)岡村製作所(現:オカムラ)入社
2007～2010年	東北大学 大学院 工学研究科 都市・建築学専攻へ国内留学 東北大学 大学院 工学研究科 博士後期課程修了 博士(工学)
2014～2015年	サバティカルとして東北大学 大学院 医学系研究科助教(広報・コミュニケーション担当)
2018年	はたらくを科学する研究所 主幹研究員
著作等	『オフィス進化論』(共著、日経BP社)2005 『オフィスと人のよい関係』(共著、日経BP社)2007 『はたらく場所が人をつなぐ』(日経BP社)2011

講演内容

1. 国際競争力を備えた研究所の調査分析

- ・世界トップレベル研究機関(WPI)の評価と空間構成
- ・東京大学 KAVLI IPMU
- ・名古屋大学 ITbM
- ・東北大学 AIMR
- ・東京工業大学 ELSI
- ・物質材料研究機構 MANA 等

2. 世界から研究者が集まる研究環境

- ・沖縄科学技術大学院大学 OIST

3. 魅力的な研究環境の要素

- ・空間、施設面
- ・バックアップ体制
- ・マネジメント面

主な研究分野・対象

- ・場所論 特に居場所、空間への愛着はどう生まれるのか
- ・グループワークの創造性研究 強いチームとはなにか
- ・柔軟なはたらき方の導入 自分で仕事をつくりながらはたらくとは
- ・コンサマトリーサービスの維持に関する研究 負担なく地域力を維持するには

長谷川 寛 (はせがわ・ひろし)

株式会社 竹中工務店

名古屋支店設計部 第1部門 第6グループリーダー



経歴等

1990年 名古屋大学 工学部 建築学科卒業
1992年 名古屋大学 大学院 博士課程前期修了
同年 竹中工務店入社

非常勤講師

2009年～2013年 豊橋技術科学大学、2014年～2016年 名古屋大学
2013年～ 名古屋工業大学、2018年～ 三重大学

主な担当作品

2010年 テクニカフクイ新社屋 (新建築 2011.07)
2015年 ATグループ本社 北館 (日経アーキテクチャ 2015.08.10、新建築 2015.11)
2017年 グローバルゲート (日経アーキテクチャ 2017.11.23、新建築 2018.01)

主な受賞

グッドデザイン賞(2009、2011、2012、2013、2014、2015、2017)、日事連建築賞(2012)
日本建築学会作品選集(2004、2011、2013、2015、2016、2017)、日本建築士会連合会賞(2014)

講演内容

1. 設計の背骨となる考え方

- ・場所性:この場所だからこざること
- ・事業性:このプロジェクトにおいて大切にすること
- ・時代性:今の時代だからできることと必要なこと

2. 立地が建築に与える影響

敷地の形状と周囲の環境に大きく影響を受けるものは何か
→「豊かな外部空間」による自然環境との繋がり

3. 大学が大切にすることを表出する

大学を表すものは何か
→「地域の一員」としての開かれたキャンパス

4. 人を中心とした建築を作る

人が集まることの意味は何か
→「大勢の学生が集まる」ことによる交流と価値の創出

開催趣旨

昨今の急激な社会環境変化の中、教育・研究分野においても異分野との交流・融合は重要性を増し、交流と融合から生まれる『研究と学びのイノベーション』は、空間づくりにも大きな変化をもたらしつつあります。

本年は、生物学と化学の融合によるミックスラボを実現した「名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)」を始め、キャンパスにおけるイノベティブな空間づくりに参画されてきた、脇坂圭一教授を基調講演にお招きし、ITbM計画時のエピソードや性能検証、今後の展望についてお話を賜ります。

基調講演を踏まえ、最新研究拠点に関する株式会社オカムラ 池田晃一様のご講演とともに、建築する場所の特性に合わせた学びの空間づくりとして「常葉大学 静岡草薙キャンパス」での弊社の取り組みをご紹介します。

研究者の皆様はもちろん、幅広い方々にお楽しみいただける内容です。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

概要

日時：2018年11月2日(金)14:30～17:10

会場：日本橋ライフサイエンスハブ 8階会議室
東京都中央区日本橋室町1-5-5

定員：50名様

参加費：無料

お申込方法：別紙のお申込書をご記入の上、
弊社営業担当者にお渡しいただくか
Eメールにて申込書の各項目について
ご連絡をお願いいたします。

Eメール：iryou-fukushi@takenaka.co.jp

●東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」A4出口 直結
(アクセスの詳細は別紙お申込書をご参照ください)



プログラム

14:00	開場	
14:30-14:35	開会・主催者挨拶	—
14:35-15:25	基調講演 「キャンパスにおけるイノベティブな空間づくり ～名古屋大学ITbM等の事例から～」	静岡理科大学 理工学部建築学科教授 (元・名古屋大学准教授) 脇坂 圭一 先生
15:25-15:40	休憩 15分	
15:40-16:15	講演① 「分野間融合を促進する研究拠点のつくり方」	株式会社オカムラ マーケティング本部 フューチャーワークスタイル戦略部 はたらくを科学する研究所主幹研究員 池田 晃一 様
16:15-16:40	講演② 「場所が持つ力を活かす学びの空間づくり ～常葉大学 静岡草薙キャンパスの取り組み～」	株式会社竹中工務店 名古屋支店設計部 第1部門 第6グループリーダー 長谷川 寛
16:40-17:10	質疑、閉会挨拶	—

セミナーお問い合わせ

株式会社 竹中工務店 医療福祉・教育本部 教育グループ
担当 平嶋 iryou-fukushi@takenaka.co.jp 080-8319-8556